

## 2015 年 12 月 6 日、2016 年 3 月 5 日～ 6 日

18 回目となる今回は、ベトナム北部のホアビン省とベトナム中部のトゥア・ティエン・フエ省で、トイレの授業や調査を行いました。STT や BAJ のスタッフ、ベトナム現地法人の LIXIL VIETNAM Corporation (以下 LIXIL VIETNAM) 従業員 5 名、株式会社 LIXIL 従業員 1 名が、子どもたち約 140 名と活動を通して交流を深めました。

## 行程概要

STT とともに	
2015 年 12 月 6 日	ホアビン省タンラック郡フーヴィン村で環境教育
BAJ とともに	
2016 年 3 月 5 日	トゥア・ティエン・フエ省フエ市トゥイスワン小学校でトイレ授業およびその周辺でのトイレ調査
2016 年 3 月 6 日	トゥア・ティエン・フエ省フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校でトイレ授業およびその周辺でのトイレ調査



## STT とともに

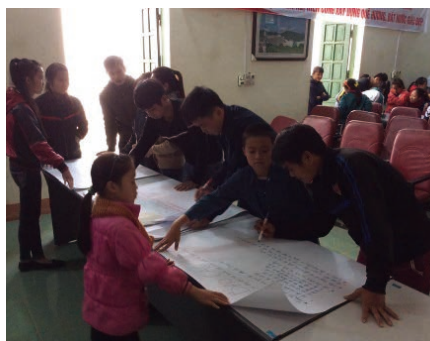
LIXIL が協働している STT は、ホアビン省タンラック郡で在来種の活用や生態系に配慮した農法の取り組み、生き物の調査や衛生環境の改善などを村の人々と話し合いながら行っています。また、村民からの要請に応じて、トイレ建設の支援も行っています。建設費用の半額を支援し、残りを各世帯が負担し、建設作業も自分たちで行うことで、村民の意識も高まり、主体的な活動が継続しています。

## フーヴィン村での環境教育 (12 月 6 日)

フーヴィン村は、ハノイから車で約 3 時間ベトナム北部の山岳地帯にあり、米やトウモロコシなどを栽培する人口 4,100 人余りの農村です。この地域に昔から住む少数民族 (ムオン族) の人々は、昔ながらの伝統を守りながら生活しています。4 回目となる今回の訪問では、子どもたちや青年団 68 名を対象に、LIXIL VIETNAM ハノイ本社従業員 2 名と STT スタッフ 2 名でトイレの授業とワークショップを行いました。前回同様、自己紹介をした後、オリジナルテキスト「トイレについて考えてみよう」を用いたトイレの授業では、LIXIL VIETNAM の従業員が講師となり、トイレがどうして必要なのか、質問をなげかけながら、トイレの歴史やトイレの特徴や正しい使い方について説明していきます。



子どもたちに意見をきく従業員



調査結果をまとめる



代表して発表する青年団

その後、12の集落ごとにトイレについて事前に調査した結果をまとめ、トイレの種類やその割合、問題点について発表しました。依然としてフィーヴィン村のトイレ建設数は少なく、またトイレ建設の支援を開始した後の他の世帯への波及効果も小さいことがわかりました。今後はこの課題に青年団とSTTが中心になり取り組んでいきます。子どもたちからは「トイレがないことによって水源が汚染されるなど周辺環境へ悪い影響があることを学んだ」「学んだトイレのことを家族や友達に話をし、環境を汚さない清潔なトイレをつくるように伝える」といった声がありました。

## BAJとともに

LIXILが協働しているBAJは、年間を通し、トゥイスワン小学校の3、4年生の全クラスと、ラムモンクアン中学校の1年生と2年生（日本の小学6年生と中学校1年生）の希望児童を対象とした環境教育を行っています。座学だけではなく地域に出てフィールドワークを行ったり、道具を使って実験したりします。子どもたちは、学んだことを絵などで表現し、互いに見せ合うことで知識を広げ理解を深めています。今回の2日間の活動は、土日にもかかわらず希望した小学生30名と中学生40名が参加しました。講師はLIXIL VIETNAM ダナン工場従業員2名、LIXIL VIETNAMハノイ本社従業員1名、LIXIL従業員1名、BAJスタッフ6名で行いました。

## トゥイスワン小学校でのトイレ授業と調査（3月5日）

トゥイスワン小学校でも、最初に自己紹介を行いました。氏名だけでなく、家族や趣味、住んでいる地域やどんな仕事をしているかを話すことで、子どもたちとの距離を縮め、子どもたちが知らない地域のこと、仕事のことを話すことで世界を広げます。その後は、子どもたちから今までの半年間の活動の報告をもらい、そしてトイレのテキストを用いた授業を行いました。今回の授業は一度履修した子どもたちもいるため、発言を促し自分の考えを述べる機会を多くしました。「サッカー中は、早く戻りたいのでトイレを使わないで校庭ですませてしまうときがあった」という、小学生らしい正直な回答もあり、笑い声も絶えない楽しい授業となりました。



授業の様子



日頃の学習の様子を報告



意見を発表するこども



そして、市場や診療所など公衆トイレの調査に行き、各トイレの使われ方などについて、調査結果をグループごとにまとめました。LIXILスタッフもグループに入り、子どもたちのまとめ方をアドバイスします。カラフルな色遣いで写真を交えてまとめた発表には、「きれいに使われていた」というトイレがある一方で、「トイレットペーパーが個室になく、別のところにあった」「臭かったので、息を止めながら調査した」などといったトイレもありました。トイレを改めて調査した子どもたちからは「きれいなトイレは気持ちが良いことが分かった」「めんどくさくて流さないことが多かったが、これからは次の人のことを考えて水を流したい」という感想が聞かれました。



トイレ調査の様子



まとめ方を共に考える従業員



皆の前で調査報告

### ラムモンクアン小学校でのトイレ授業と調査 (3月6日)

この日は、昨日同様自己紹介後に、子どもたちからのこれまでの学習成果発表をしました。水の循環や森林破壊について、自分たちの生活と結びつけた絵を描き説明してくれました。先生によると、この環境クラブ活動により、実習をすることが多くなった生徒たちは、遠くのことだと思っていた環境問題について地域でもおこっている問題として目を向けるようになったそうです。その後、トイレテキストを復習し、公衆トイレや個人のお家のトイレの調査に向かいました。子どもたちはそれぞれ撮影係や書記を決めグループごとに調査を行い、管理人さんなどにも話を聞いた結果を模造紙にまとめました。授業で習ったことと、それぞれの場所で受けた印象を比較しながら、写真と絵を使って良い点、悪い点について考察しました。



授業をきく子どもたち



トイレを管理する人に話をきく



グループで報告書を作成

ベトナムでのこの活動は2015年度をもって休止します。子どもたちへの教育は、家族の行動や環境までも変化させてきました。9年間の活動は、従業員にとっても成長や気づきの場となりました。

LIXILは新CR方針の重点分野に「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」を掲げています。これからも水と衛生問題の解決に向け活動を行っていきます。

## 環境教育活動参加者

ホアビン省	タンラック郡フーヴィン村子どもと青年団 70名		
トゥア・ティエン・フエ省	フエ市トゥイスワン小学校児童 30名		
	フーロック郡ヴィンミー村ラムモンクアン中学校生徒 37名		
STT	代表	伊能まゆ	
	ベトナム事務所	Do Thi Hoa (ドー ティ ホア)	
BAJ	ベトナム事務所	片山恵美子	
		Ly Ba Khuong (リー バー クオン)	
		Nguyen Dinh Dong (グエン ディン ドン)	
		Nguyen Le Thanh Long (グエン レー タイン ロン)	
	東京事務所	瀬川 志穂	
LIXIL	LIXIL VIETNAM	ハノイ工場	Khuat Duy Son (グアット ズイ ソン)
			Le Thi Tuyet Mai (レ チ トゥエットマイ)
		ダナン工場	Phan Thi Bao Khuyen (ファン ディ バオ クゥエン)
			Nguyen Thi Hoai Thu (グエン ディ ホア ツウ)
	LIXIL 広報部 CR推進 G	蓼沼 亜沙子	